

アルビクス 直近同録ユニット SR-2000



◆特長

- HD-SDI（映像・音声）を録画／再生可能な同録ユニットです。
- 本体に2TBのSSDを搭載し約40時間の画音をMotion JPEG方式で録画します。
- ループ録画（過去24時間）も可能です。
- 録画ファイルは、任意の時刻を指定して追掛け再生可能です。
- また、アプリケーションソフトを使用してファイルを切り出し保存、PC上で再生することも可能です。
- VAD-F2000シリーズの画音監視アプリケーションソフトと連動して障害発生時の確認が行えます。

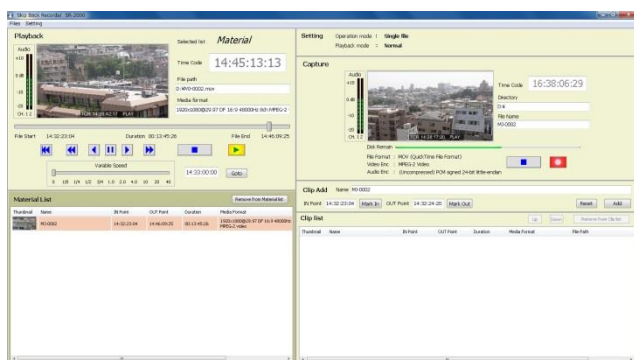
◆搭載アプリケーション

アプリケーション	SR-2000	SR-2000 (Player)
主な機能	ループ録画 追掛け再生 プレイリスト リピート再生	SR-2000の 再生のみの機能
使用入力	IN A	—
使用出力	OUT B（再生出力） OUT A（IN Aのバッファスルー）	OUT B
使用チャンネル	チャンネルA 録画 チャンネルB 再生	チャンネルB
録画ファイル	Motion JPEG-MOV MPEG2-MOV	—
音声	リニアPCM	—
再生可能 ファイル形式	Motion JPEG-MOV MPEG2-MOV 非圧縮-AVI Motion JPEG-AVI	

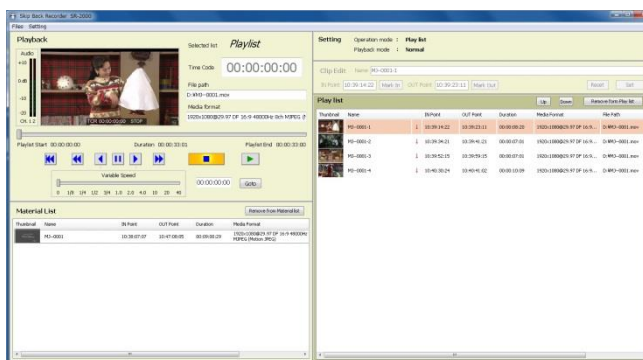
※同一チャンネルを重複して使用する組み合わせで、アプリケーションを起動することはできません。

<画面イメージ>

SR-2000



SR-2000 (Player)



◆外観図



◆仕様

◆映像入出力信号	
入力信号数	1系統
出力信号数	2系統（分配出力）
信号形式	映像：HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz] 音声：エンベデッドオーディオ 48KHz 16bit 8ch
入出力接栓	BNCコネクタ
◆外部同期信号	
入力信号数	1系統
信号形式	BBまたは3値同期
入力接栓	BNCコネクタ
◆録画圧縮規格	MotionJPEG（DataRate：約110Mbps） 切り出し保存するファイルは、拡張子.movのMotionJPEGファイル。 QuickTime Player等を使用しPC上で再生可能。 ※Quick Timeはアップルコンピュータ社の商標です。
◆外部 I/F	
通信仕様	ギガビット・イーサネット対応 LANインターフェース
コネクタ	RJ-45モジュラ
◆機能	
ループ録画	過去 24 時間をエンドレスでループ録画します。
トリックプレイ	外部制御により、出力のコントロールを行います。 ・ 指定時刻の頭出し ・ 録画開始／停止 ・ 再生／一時停止／再生終了 ・ 早送り／早戻し ・ コマ送り（1 フレーム単位）／コマ戻し（1 フレーム単位）
ファイル切り出し	外部制御により、任意の時刻を指定してファイルを切り出し保存できます。
◆外形寸法	W430×H44×D400mm
◆電源電圧	100V±10% AC 50/60Hz
◆消費電力	約92W（95VA）
◆使用温度	5℃～35℃

◆追加オプション

- オプションを追加することで2系統の非圧縮録画が可能となります。
- VAD—F 2000の画音監視アプリケーションソフトからの制御で、障害発生時の録画を行います。
- 本体のGUIを操作して、録画ファイルの再生を行います。

◆搭載アプリケーション

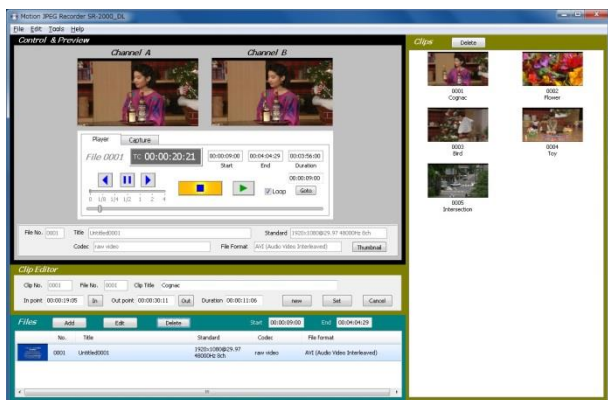
標準アプリケーションに加え、下記アプリケーションが搭載されます。

アプリケーション	SR-2000_DL	SR-2000_W (Channel A)	SR-2000_W (Channel B)	SR-2000_W
主な機能	Dual link を録再	チャンネル A の録再	チャンネル B の録再	チャンネル A と B の録再制御を1つのGUIにまとめたもの
使用入力	IN A/B Dual link	IN A	IN B	IN A/B
使用出力	OUT A/B Dual link	OUT A	OUT B	OUT A/B
使用チャンネル	チャンネル A/B	チャンネル A	チャンネル B	チャンネル A/B
録画ファイル	非圧縮—AVI Motion JPEG—AVI			
音声	リニア PCM			
再生可能 ファイル形式	非圧縮—AVI Motion JPEG—AVI			

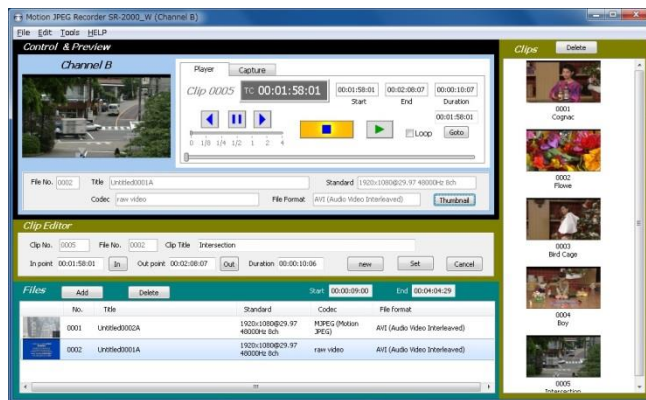
※同一チャンネルを重複して使用する組み合わせで、アプリケーションを起動することはできません。

<画面イメージ>

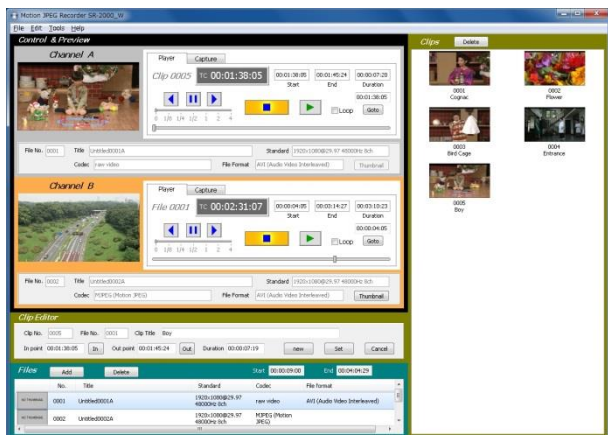
SR-2000_DL



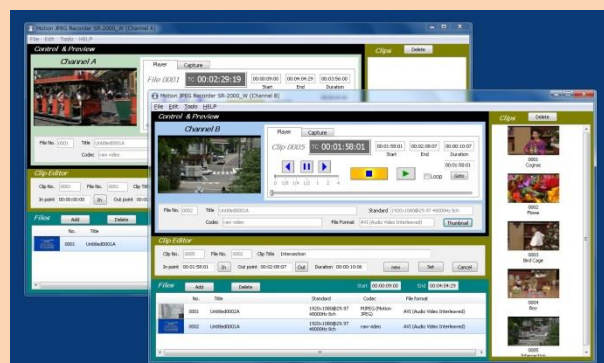
SR-2000_W (ChannelA/B)



SR-2000_W



SR-2000_W (ChannelA/B) は同時に立ち上げて2つのチャンネルを別々に制御することができます。



◆アプリケーション使用例

エンコーダチェックシステムとして下記のように使用できます。

<障害発生素材録画>

本体アプリケーションソフト「SR-2000_W (Channel A)」、「SR-2000_W (Channel B)」を使用します。
各チャンネルの録画機能を使用し、SSDに録画します。
VAD-F2000の画音監視アプリケーションソフトからコントロール(UDP)を行い、監視に連動した録画を行います。

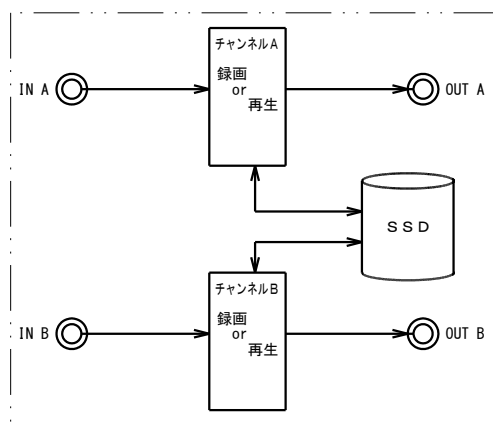
<録画ファイルの再生(再現試験用途)>

本体アプリケーションソフト「SR-2000 (Player)」を使用します。
チャンネルBの再生機能を使用します。
本体のGUIを操作し、再生ファイルの選択、プレイリストの作成、リピート再生の実行などを行います。
※操作には、キーボード(USB) / マウス(USB) / モニタ(1440×900以上、アナログRGBまたはHDMI接続)が必要です。

<障害発生素材録画と録画ファイルの再生を同時に行う場合>

本体アプリケーションソフト「SR-2000_W (Channel A)」と「SR-2000 (Player)」を使用します。
チャンネルAの録画機能とチャンネルBの再生機能を使用します。

◆内部概略構成



◆仕様

◆映像入出力信号	
入力信号数	2系統 (IN A / IN B)
出力信号数	2系統 (OUT A / OUT B) ※オプションを追加した場合、分配出力はできません。
信号形式	映像：HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz] 音声：エンベデッドオーディオ 48KHz 8ch
入出力接栓	BNCコネクタ
◆外部同期信号	
入力信号数	1系統
信号形式	BBまたは3値同期
入力接栓	BNCコネクタ
◆外部 I/F	
通信仕様	ギガビット・イーサネット対応 LANインターフェース
コネクタ	RJ-45モジュール
◆外形寸法	
W430×H44×D400mm	
◆電源電圧	
100V±10% AC 50/60Hz	
◆消費電力	
約92W (95VA)	
◆使用温度	
5℃～35℃	

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。